



京葉動力労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.12.21 No. 3916

ダイ改移行後の問題点に議論集中

乗務員分科定期委員会を開催

一二月一六〜一七日
笠森保養センター

第一六回乗務員分科会定期委員会が一二月一六日〜一七日、長南町・笠森保養センターにおいて開催されました。

委員会は本部より委員長・書記長が来賓として出席し、本部委員・代議員・傍聴と総数五〇名が会場を埋め、議長に千葉運転区鈴木進君を選出し、二日間活発な討議をおこない成功裡に終了しました。

論議された主な意見は、

- (1) 一二月ダイヤ改正に関するもので
① 作業が大幅に変更したのにも関わらず訓練もせず、掲示と留意点のビラを配布しただけである。もっと実情を見て欲しい。
- ② ダイヤ改正が実施されてから駅等の作業変更があったことがわかった



定期委員会であいさつする松垣会長(笠森保養センター)

九三年度役員体制
会長 松垣 充 千転
副会長 冬木 浩明 千転
委員 吉田 英樹 千転
松戸 彰 千転
加藤 嘉雄 千転
加藤 博郎 千転
木田 勇夫 千転
庄田 聡 千転
恋塚 三樹男 千転
勝浦 鮎子 千転

全国を席巻し確かな地歩築いた93冬季物販闘争

今九三冬季物販闘争は、この間の額にの真価は、今日の全産業にわたってかけ汗して全組合員が全国オルグへと足をのびてきている。「雇用調整」という名運んだ成果と、それを支える全国の担当の解雇攻撃を見るとき、より鮮明な輝き者の方々の奮闘によって、幕開けから才を帯びるのだ。

ルグ要請が殺到するなど、「連合」情勢 全員の解雇撤回！これこそ全組合員の下で苦闘する労働者が、本当の労働運動 悲願である。そのためにも全組合員は組合目標一人二万円を達成するために、さらなる奮闘をしよう！汗を実に結びつけ

今年末にも、中労委において初の命令が出されるとされている清算事業団闘争

。それに伴い当然運転士の作業が変更になる。本来であればダイヤ改前に運転士に周知徹底させておかなければならないのではないのか？

③ 乗務員勤務改正以降、また運転室での作業が増えている。

④ 相変わらず行路の途中、わずかの時間での無理な入区・出区などがある。是正して欲しい。

⑤ 自区以外の泊り行路の場合、対面点呼は可能なかぎり電話点呼にして欲しい。

(2) 列車走行中、指令より無線で呼び出されることが多い。無線での受領券の記入方については、列車が駅等で停車してから行なうよう徹底しよう。

(3) 構内の外注化問題とそれについての千葉支社の扱いは？また、今後の展望と課題については？

(4) 休日勤務については、いろいろ問題が多い。

(5) 貨物と東の出向についての条件が違うが改善して欲しい。

(6) 踏切安全闘争について一年間闘って全員が実行し成功した。一時中断し再度危険踏切に対し、安全闘争をやった

いきたい。

等など例年より多い議論でした。

続いて、分科会より提起し、採択された方針は以下のとおりです。

- (1) 一二月ダイヤ改は問題が山積みとなっている。問題点を集中しよう。
- (2) 踏切安全闘争の経験と実績のうえに危険踏切の摘発行動を実施しよう。
- (3) 昨年の東の動乗改悪に続いて、貨物の動乗改悪が改悪されようとしている。相互にこの制度が乗務員にとっていかに悪い制度が学習しよう。
- (4) JR移行後、定員数が標準数となつて各支部では休日出勤や研修・技能競技会と合わせ、多くの問題が発生している。乗務以外の勤務が何日ぐらいあるのか調査しよう。

などです。

次期役員については、
会計監査員の

渡辺照信君(勝浦支部)にかわり、恋塚三樹男君(同支部)が選出され、最後に松垣乗務員会長の音頭による団結カンパロー三唱で終了しました。

(ひとり2万円の)

物販あと一步！全組合員が目標貫徹を！